

一八九七番

春^{はる}されば　もずのかやぐさ　見^みえずとも　我^{われ}は
見^{みや}遣らむ　君^{きみ}があたりをば

一八九八番

かほ鳥^{とり}の　間^まなくしば鳴^なく　春^{はる}の野^のの　草^{くさね}根^ねの繁^{しげ}
き　恋^{こひ}もするかも